



# 宗四小だより

1月号

志木市立宗岡第四小学校  
志木市上宗岡1-1-2  
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 589名 令和5年1月10日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



## 「人と人との情緒的な結びつきを大切に」



校長 高柳 政行

新年明けましておめでとうございます。

令和5年・2023年も昨年同様に、本校児童と教職員への温かいご支援をよろしくお願ひ申し上げます。また、児童一人一人の豊かな学びの充実のため教職員一丸となって努めてまいりますので、保護者、地域の皆様のご理解・ご協力を重ねてお願ひ申し上げます。

さて、長引くコロナ禍において、人と人が対面で話すことの大切さを改めて感じる昨今です。そこで、今回は愛着形成について考えたことを話題にします。



愛着とは「慣れ親しんだ物事に深く心を引かれ、離れがたく感じる」ことを言いますが、人と人との心理的な絆に対しても愛着という言葉を使います。

心理学における愛着（attachment）とは、他人や動物などに対して築く特別な情緒的な結びつき、とくに幼児期までの子どもと親や保育者との間に形成される関係を中心とした情緒的な結びつきのことを言います。

しかし、この愛着は幼児期だけでなく児童期以上、大人においても大切だと言われるようになってきました。愛着が形成されていくための**3つの基地機能**として、①安全基地（ネガティブな感情から守る機能）、②安心基地（ポジティブな感情を生じさせる機能）、③探索基地（基地から離れ適切に分離し感情をコントロールできる機能や基地から離れ様々なことに意欲的に取り組み、適切に帰還できる機能）、認められることでさらに、次の探索行動が増し、精神的自立の力が育まれていくと考えられています。

「もし愛着の形成がうまくいかない状況が生じているとすれば」、お子さんと保護者の皆様をはじめご家族の方や担任等の関係教職員との間に生まれる、人と人との情緒的な結びつきや、上述した3つの機能を強めていけばいいということになります。



2023年、新たな年を迎えた今、未来を生きる子どもたちのことを想い、お子さんとの親子関係や、児童生徒と教師の関係などを見つめ直す機会をもってみましょう。まず、うまくいっていることを確認します。そして、気になることや、気がかりなことがあるときは、修正や改善のチャンスだと考えましょう。私自身も様々な関係性を見つめ直したいと思っています。

愛着に基づいた人間関係が存在し、築かれていくことが、これからの子ども達の情緒的で安定した感情を育み、豊かな人間関係をより強める原動力となるでしょう。また、すぐへこたれることなく自尊感情などを身につけ、社会で活躍できる力につながっていくのではないのでしょうか。